

市民派・
公明倶楽部
窪野 愛子



窪野議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



年度当初にも小規模保育事業所の運営が安定する支援を

Q 市内13箇所の小規模保育事業所の4月当初の平均入所率は66%で、最も低い入所率は50%であった。一貫した保育理念の推進には、経営不安のない安定運営への継続支援が必要と思うが、見解を伺う。



アットホームな小規模保育事業所

他市の状況を踏まえて、支援方法について検討していく

A 現在、年度当初から保育士を配置する私立保育園、幼保連携型認定こども園に対し、県補助事業を活用し補助金を交付しています。待機児童対策として、小規模保育事業所は重要な施設であるため、引き続き県への補助要望をしていくとともに、

他市の状況を踏まえながら、支援方法について検討していきます。

発達相談支援センター「のびるくむ」に有資格者の配置を

Q 開設から4年が経過するが、相談者の年齢層からも、変化著しく多様化するニーズに、対応できていない「のびるくむ」への、有資格者の配置が必要と考えるが、見解を伺う。

今後は公認心理師等の有資格者の配置も含め検討を進める

A 近年は、発達・知能検査の実施や、発達の特性に合わせた具体的なアドバイス等、専門性を求められることも多くなっているため、今年度、近隣市の設置状況を調査し、市の発達相談支援体制の在り方を検討する会議を開催しています。今後は、公認心理師等の有資格者の配置も含めたよりよい体制の実現に向けて、さらに検討を進めていきます。

共に創る掛川
鈴木久裕



鈴木議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



「かがわ茶エンナーレ」の目的と目指すものは

Q そもそも、このイベントは何のためにやろうとしているのか。

掛川市の文化芸術の振興を図ることを目的とする

A 市民にとって身近なお茶とアートをテーマとした芸術祭を開催することにより、市民が優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供し、文化芸術への関心を高め、自ら文化芸術活動に取り組む機運を醸成し、掛川市の文化芸術の振興を図ることを目的とするものです。

「茶エンナーレ」をわかりやすく改称すべきでは

Q 「茶エンナーレ」という名称が、このイベントをわかりにくくしている。「茶」をはずし、わかりやすく改称するべきと思うが、どうか。

掛川茶のPRも一つの狙い、これまでどおり開催する

A かがわ茶エンナーレは、お茶とアートを掛け合わせることに、優れた芸術作品に親しむ機会をおして掛川茶のPRにつながることを一つの狙いとしており、茶業関係者の方々からも評価の声をいただいています。また、これまでの開催を経て「かがわ茶エンナーレ」という名称が、定着してきたと考えており、これまでどおりで開催します。

【その他の質問事項】

・掛川市南西郷地区土地利用可能性調査について



駅南口のアートモニュメント「合体」(1988年ジュン・スズキ作)